



二中だより

明 強 正

創立70周年記念 No.10

平成30年9月20日（木）

発行 八戸市立第二中学校

電話 22-2297

パパママ体験で親子の絆を再確認

今年度も9月4日、5日の2日間、3年生を対象にパパママ体験学習が行われました。これは、妊婦や育児について考えたり男女の協力の必要性について学んだりすることを通して、自分自身も家族から愛され育てられた大切な命であることを実感させ、これからの学校生活や長い人生を前向きに進もうとする思いを育てることを目的に行っています。養護教諭が直接子どもたちを授業として指導する数少ない機会です。

妊婦ジャケットを装着した妊婦体験では、ズックのひもを結んだり起き上がったりする日常的な行動がいかにも大変なのかを実感し、沐浴人形を使った抱っこや着替え、おむつ交換では、とまどいを見せ緊張しながらも楽しそうに体験していました。その後は出産ドキュメントビデオを鑑賞し、最後に家族からの手紙を読んで終わりました。手紙に涙を抑えきれない生徒も多くいたようでした。

授業後の生徒の感想には、母親や家族への感謝の思いが素直に表れているものが多く、今回の授業を機に家族の思いや命の大切さ、親子の絆、今後の自分のありようについて深く考えることができたようです。

また、各学級にお手伝いとして参加くださった保護者の皆様からは、「子どもたちの様子に感動しました」「すばらしい授業でした」などの感想を聞くことができました。お手伝いいただきありがとうございます。

最後に、生徒の感想をいくつか紹介します。

- ・お腹に赤ちゃんがいると靴のひもを結ぶだけでも大変だと感じました。
- ・子育ては大変なことだとわかりました。日頃から親に感謝して生きていきたいです。
- ・お母さんがどれだけ大変だったかを知ることができました。
- ・産んでくれて大切に育ててくれてありがとう。
- ・手紙を読んだら、自分がこんなにも思われて大切にされて生まれてきたことがわかり、涙がこぼれました。
- ・「生まれてくれてありがとう」と言ってくれるけど「生んでくれてありがとう」です。
- ・命って本当に大切なものなんだと改めて気づかされました。
- ・親からもらった体を大事にしたいと思います。
- ・お父さんやお母さんの期待にはまだまだこたえられていないけど、頑張ります。
- ・ちゃんと自立できるように頑張ります。
- ・もう少しの間、迷惑をかけると思うけど、よろしくお願いします。

ネット依存の心配はないか 二中学生のネット利用時間は？

今年7月に八戸市中学校長会が実施したネット利用環境実態調査によれば、二中学生の1日当たりの利用時間で最も多かったのが1～3時間で46.2%でした。これに3時間以上の5.5%を加えると、半数以上が1日1時間以上利用していることとなります。これが多いのか少ないのかは判断の難しいところですが、今月1日のデーリー東北に「ネット依存中高生 93万人（中高生7人に1人）」「病的な使用をしている生徒が5年で倍増」という記事が掲載されました。スマホの普及が背景にあり、依存が疑われる中学男子が10.6%、中学女子が14.3%と女子が高い割合とのことでした。（厚生労働省研究班）

数字は%

利用時間	1時間未満	35.2
	1～3時間	46.2
	3時間以上	5.5
	使用していない	13.0
利用内容	コミュニケーション	32.8
	情報検索・収集	70.0
	音楽視聴	69.6
	動画視聴	76.3
	電子書籍	16.6
	ゲーム	64.8
	ショッピング・オークション	6.7
トラブル	知らない人からのメールがあった	15.0
	迷惑メールやメッセージがあった	14.2
	ネットでの知り合いとメールをした	10.7
	のめり込んで勉強に悪影響、睡眠不足	13.8

<二中学生のネット利用調査結果>

トにのめり込んで勉強に集中できなかつたり睡眠不足になったりしたことがある」と答えた生徒が13.8%と、新聞掲載の全国の依存が疑われる割合にかなり近い数字です。

ネット依存外来がある医療機関の話として、新聞に掲載されたネット依存の主な症状は「日常生活に支障」「学校や職場を遅刻、欠席」「成績低下」「昼夜逆転」「食事を取らない」「暴力」「引きこもり」「うつ病などの合併症」「脳の萎縮」などです。さらに「小学生や幼稚園児でも依存が始まっている子がいる。子ども全体ではもっと多いはず」と警鐘を鳴らす専門家もいますし、6月に世界保健機関（WHO）が「ゲームのやり過ぎ」を疾病に分類したことから、国内外での社会問題化に対策遅れを指摘する声も上がっています。

市内で発生している中学生の非行やいじめには、ほぼ間違いなくネットやスマホが介在しています。ネットやスマホの使い方については、学校でも毎年情報モラル講演会を行ったり授業の中で指導したりしてきましたが、ネット依存の深刻化を受けて新たな対策が必要な時期なのかもしれません。

八戸市中学校生徒会代表者会議「思いやり提言」

インターネットトラブルから互いの身を守るために、市中学校生徒会代表者会議ではネットの使い方について「思いやり提言」を決議し、本校でも生徒総会で発表しています。

- ・相手の気持ちを考えて、心を傷つけない言葉を使います
- ・相手のためにも自分のためにも、断る勇気を持ち、約束した時間(22時まで)を守ります